

<h1>そだて</h1> <p>第277号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojya.niigata.jp URL http://www.city.ojya.niigata.jp/</p>
---------------------------	---------------------------	---

教育センター「相談室」の紹介

小千谷市教育センター

教育相談員 細金 文子

教育センター2階に設けられている「相談室」について、ご存知でしょうか？

教育センターの歴史を紐解きますと、平成5年、当時深刻になっていた不登校児童生徒の受け入れ場所として適応指導教室「なかよしルーム」が設立されたことが記載されています。このことが、小千谷市における教育相談のスタートと考えることができるのではないのでしょうか。そして、4年後の平成9年には「教育相談部」が置かれ、教育相談が本格的に進められるようになりました。開設時に1名の教育相談員配置がなされ、今日まで1名体制で続けられています。

教育相談体制が整ってから二十数年、子どもたちを取り巻く社会は急速に変化し、学校教育も大きな変遷を遂げましたが、同時に様々な問題にも直面することとなりました。その一つが、学校生活に適応することが困難で、登校しなくなる児童生徒が増加している「不登校問題」。さらに、校内の人間関係が基になって生じる「いじめ問題」。発達の様相が同年代の仲間と違うと感じる「発達の課題」。これら3つが、当市でも大きな問題となっています。

こうした問題を抱えるお子さんのご家族は、困っていることを誰にも相談することができずにいることが多いようです。「不登校になっていることが知れたら、子どもの将来に影響する」「いじめられているなんて訴えたら、仕返しをされてしまう」「子どもが発達障害だと知られたら、仲間はずれになるのではないか」…というような気持ちが先行してしまい、人に話をするのがためらわれるのだと思われます。

日本社会では、「みんな同じようにすること」が優先され、周囲と異なる状態になることは「悪いこと」だとする風潮が強いように感じます。こうした社会の中で、お子さんの問題を家族以外には知られたくない気持ちになり、ご家族で抱えてしまうことが多くなると思うのです。

しかし、お子さんに問題が生じることは決して「悪いこと」ではありません。直面している問題は、成長していく過程でお子さんには避けて通れない大切な事だと考えると良いのではないのでしょうか。そして、学校の先生方をはじめ関係する様々な人の意見を聞きながら、家族全員で問題に取り組む姿勢をもっていただくことが解決につながると考えます。

児童精神科医として、長きに渡って多くの母親から信頼されてこられた佐々木正美先生は、次のような言葉を残しておられます。

『手のかかる子どもには、思う存分手をかけてやってください。

親に助けられて育った子は他人を信じ、他人を大切に育ちます。』



問題が生じたことで、手がかかるようになった子に対して、大人は「困ったものだ。早く元通りにしなければ」と思い、解決を焦ってしまいがちです。しかし、問題解決に特効薬はありません。子どもの、良くなろうとしている気持ちを信じ、「今、何ができるか」を見極めて地道に対応することでしか前進できないのです。「今、何ができるか」について、一緒に考えさせてもらうために教育相談員がいます。どうぞ、お困りの時にはご連絡ください。

☆～「愛の一声」～☆

— 青少年補導委員 9月・10月の街頭補導より —

■街頭補導した感想を抜粋して紹介します。

- ・南中学校では、運動会をしていました。少人数ではありますが、温かみのある素晴らしい運動会でした。
- ・土曜日の午後、信濃川の土手を巡回しました。草がきれいに刈られていました。河川敷でサッカーと野球をしている少年たちがいました。小千谷は、のどかな良い所です。
- ・学校帰りの高校生に挨拶をすると、とても気持ちが良い挨拶が返ってきました。素晴らしい事だと思いました。
- ・勤労青少年ホームの体育館では、少年野球チームが元気に練習していました。指導者に様子を聞くと「野球に限らず、この辺りの子どもに問題はありません。」との事でした。
- ・電車待ちの高校生が駅前ローソンに集まっていた。セブンイレブンのイートインスペースには部活帰りの高校生がいました。お店の方の話だと、特に問題はなくきちんとした態度だそうです。
- ・高校生が利用する、電車の時間帯に合わせて小千谷駅に行き、使用状況やマナーを確認しました。地べた座りもなく、適切に駅を利用していました。



11月は「子ども・若者育成支援強調月間」

～ 輝く未来 育て支えて 見守って ～

次代を担う青少年が、心身ともに健やかに成長することは、私たちの願いです。しかし、ニート、ひきこもり、不登校、少年非行、いじめ問題、児童虐待等の多様で複雑な問題の解決には、行政、青少年の育成支援に関する諸団体が連携して取り組むことが大切です。また、子ども・若者を孤立させず、地域全体で支える社会を築くことも必要です。

小千谷市青少年育成センターは、悩み相談などを気楽に話せる身近な地域機関です。

青少年育成センター相談電話 0258-82-6771
相談時間 13時～16時（月～金）祝日除く
Eメール s-center@city.ojiya.niigata.jp